

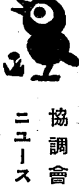
戦時の勞務管理に就いて

企畫院 美濃口時次郎

對支那の戦が始められてから早くも一年近くが過ぎたが、蔣介石政権は最後の喘ぎを續け乍らも、今尚ほ反逆の色を示さない。事變の規模は漸次擴大されやうとする。併しこの事變が今日以上に擴大されるか。またそれが何時まで続くかといふことは、こゝでは問ふ必要はない。現下の國際情勢の下に於いては、國家の戰時體制を先完備することが緊要である。

一方に大量の軍の動員が行はれて最も優秀な勞務力の大部分がこれに奪はれると同時に、他方では近代化の特徵として、これらの動員された軍に供給すべき多量の軍需品を、その幾ら多量の勞務力を以て生産しなければならぬことになる。

然るに男女を問はず、これらの勞務の多い勞務者を使ふことは、勞務の管理の上から見て色々困難を伴ふと見なければならぬ。例へば男子に就いては、今までのやうに比較的世間の波にまよつて生業を営んで来た場合に較べて、勞務の管理はさう簡単には行かぬことだらうと思ふ。勞務者の理屈も多くなるといふことだらうと思ふ。また女子に就いては、従来我が國に於いては、二十歳前後の未婚の女子だけを別に扱つて使ふ場合と違つて、有夫の女子勞務者が、而も男子の間に立ち混つて働く場合には、風紀の點からいつても、色々むづかしい問題が起るだらうと思ふ。また待遇施設等の點から申しても、今までは違つた種々の問題が起ることは避け難い。これを就いては、勞務管理の責任に任じて居る者は豫め今から研究を怠らぬやうにして置かなければならぬと思ふ。



協調會 ニエース

東京本部

本會々長長谷川公雄には、倫敦に於ける世界赤十字社聯合會に御出席の爲る五月二十日御預滯を出立され。五月二十日御預滯一行御歸。本會常務理事田代次郎氏、同席の藤澤朝世氏、山内三三氏、約一月の支那視察を終へて去る五月八日無事歸京。 後藤理事研究會 本會に於ては、後藤理事の重要性を認め左記の如く研究會を開催した。

五月九日午後一時より埼玉縣政府に於て開會、來會者中小工場主約百三十名、山口本會職員、後藤理事工業會役員、開會挨拶を兼ね工場主として地位に就いての講話及三浦常務理事の講話あり、本會製作の映畫一打して午後五時退散會。 五月九日午後一時より埼玉縣政府に於て開會、來會者中小工場主約百三十名、山口本會職員、後藤理事工業會役員、開會挨拶を兼ね工場主として地位に就いての講話及三浦常務理事の講話あり、本會製作の映畫一打して午後五時退散會。

五月九日午後一時より川口市に於て開會、來會者中小工場主約百三十名、山口本會職員、後藤理事工業會役員、開會挨拶を兼ね工場主として地位に就いての講話及三浦常務理事の講話あり、本會製作の映畫一打して午後五時退散會。